

教育研究評議会要旨

日 時	場 所	欠 席 者	陪 席 者
平成19年4月20日（金）13時30分	事務局大会議室	法学部長、医学部長	常勤監事

(はじめに)

議事に先立ち、学長から、新任評議員の紹介があり、工学部長、医学部評議員、工学部評議員及び総務・財務担当理事から挨拶があった。

次いで、総務・財務担当理事から、新任部課長の紹介があり、当該職員から挨拶があった。

また、学長から、3月16日開催の教育研究評議会要旨の確認が行われ、了承された。

1. 審議事項

(1) 香川大学学長選考会議委員の選出について

学長から、教育研究評議会から選出する学長選考会議の委員について、前工学部長が3月31日をもって本学を退職したため、1名の欠員が生じた旨説明があった。

については、上記1名の補充として、大学を構成する専門領域等を考慮し選出した過去の慣例にならない、学部長を選出したい旨学長から提案があり、審議の結果、これを承認し、現工学部長を委員として選出した。

2. 報告事項

(1) 平成19年4月以降の役員体制について

学長から、報告資料1に基づき、平成19年4月以降の役員体制について報告があった。

(2) 平成19年4月以降の役職者等について

学長から、報告資料2に基づき、平成19年4月以降の役職者等について報告があった。

(3) 学長特別補佐の配置について

学長から、報告資料3に基づき、平成19年4月1日付けで4名の学長特別補佐を任命したこと、及び任期を1年間とした旨報告があった。

(4) 第12回経営協議会について

学長から、報告資料4に基づき、3月22日に開催した経営協議会議について報告があった。

(5) 将来構想具体化に向けての取り組みについて

学長から、参考資料に基づき、「香川大学将来構想」の具体化に向けて、以下のとおり取り組むこととした旨報告があった。

- ① 学長、理事、各学部評議員（学部長を除く。）、学長特別補佐、その他必要と認める者で構成する新教育研究組織の検討委員会（仮称）を立ち上げる。
- ② 検討委員会の委員長は学長、副委員長を教育担当理事とし、平成19年秋頃を目途に中間報告をまとめる。
- ③ 当面の大きな課題は、柔軟な教育研究組織の構築、人文社会系を中心とする博士課程の設置の2点とする。

(6) 平成19年度香川大学入学者選抜試験実施結果等について

教育担当理事から、報告資料5に基づき、平成19年度入学者選抜試験の実施結果について、学部、編入学、研究科ごとの状況について報告があり、これらの入試結果を踏まえ、

アドミッションセンターにおいて分析し、次年度に向けて戦略を立てる予定である旨発言があった。

また、学長から、大学院の定員充足については、今年度の実績を来年度の予算配分に反映させるので、各部局においては定員充足に向けて努力してほしい旨発言があった。

なお、評議員から、大学院の一部の研究科における定員超過について発言があり、学長から、文部科学省や国立大学協会の見解を鑑みると、平成20年度入試もこれまでどおりの方針で実施して差し支えない旨発言があった。

(7) 平成20年度香川大学大学院教育学研究科学生募集について

教育担当理事から、報告資料6に基づき、標記の学生募集について報告があった。

(8) 平成19年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の申請について

教育担当理事から、報告資料7-1及び7-2に基づき、標記のプログラムについて、経済学部及び農学部から各1件の応募があり、3月29日にプレゼンテーションを行い選考した結果、これらを文部科学省へ申請した旨報告があった。

(9) 卒業生等による大学教育評価報告書の発行について

教育担当理事から、報告資料8に基づき、中期計画・中期目標の一環として、教務委員会のもとに外部アンケートWGを立ち上げ、本学の卒業生及び本学の卒業生が就職している企業等を対象に、平成18年10月から11月にかけてアンケートを実施し、その結果を標記報告書としてまとめ発行した旨報告があった。

(10) 平成19年度プロジェクト研究、特別奨励研究、若手研究（萌芽研究）経費の決定について

学術担当理事から、報告資料9に基づき、平成18年12月21日付けで全学教職員に対し公募していた標記研究事業について、3月19日開催の研究支援センター員会議において採択候補課題を選定したうえで、学長が採択決定を行った旨報告があった。

(11) 学術交流協定の締結について

学術担当理事から、報告資料10に基づき、2月26日開催の学術国際交流委員会において、台湾の真理大学と大学間学術交流協定及び学生の交流に関する実施細則の締結を了承したことを受け、3月9日開催の役員会においてこれを承認した旨報告があった。

(12) 平成18年度香川大学国際交流基金の募金活動結果について

学術担当理事から、報告資料11に基づき、平成18年11月から12月にかけて募金活動を行った結果、平成17年度に比べ増額となったことについて報告があった。

(13) 平成19年度香川大学国際交流基金援助事業（教職員対象）の採択結果について

学術担当理事から、報告資料12に基づき、平成19年度における標記事業について、学内から応募のあった者について、2月26日開催の学術国際交流委員会において審議し、採択者を決定した旨報告があった。

(14) 平成19年度香川大学国際交流基金援助事業（学生対象）の採択結果について

教育担当理事から、報告資料13に基づき、平成19年度における標記事業について、学内から応募のあった者について、2月13日開催の留学生委員会において審議し、採択者を決定した旨、報告があった。

(15) 香川大学博物館の設置場所について

総務・財務担当理事から、報告資料14に基づき、香川大学博物館の設置場所が3月19日開催の施設マネジメント委員会において審議の上、了承された旨報告があった。

3. その他

(1) 平成19年度大学運営特別経費による事業の募集について

連携・評価担当理事から、標記事業を4月27日から5月16日まで募集する予定である旨発言があった。

(2) 他大学における平成18年度認証評価結果について

連携・評価担当理事から、資料1に基づき、平成18年度に機関別認証評価を受検した5総合大学における主な改善点の指摘事項をとりまとめたところ、共通点として、大学院の定員充足率の低さ、または定員超過率の高さが指摘されている旨発言があった。

(3) シニアサマーカレッジ2007の開催について

経済学部長から、平成19年8月から9月まで開催される(本学においては8月27日から8月31日まで開催する)標記事業について案内があった。

(4) 学内者向けホームページのリニューアルについて

連携・評価担当理事から、本学のホームページのうち「学内の方へ」のページをリニューアルする予定であること、また、そのページの中に「役員室だより」というページを設け、大学運営に関する役員の考えを随時発信することについて発言があった。

閉会 14時25分